※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅱ（光村図書）						
副教材等	くらしのペン習字（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで学んだ基礎を踏まえた上で豊かな表現力を身に付けましょう。
・書道が日本の芸術、伝統文化であることを理解しましょう。
・作品制作では伝統的な表現形式とともに漢字仮名交じりの書等、表現の多様性を理解し身につけ。
　ましょう。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を磨き、これを高め、書写能力のさらなる向上を図り、表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を確かなものにする

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に多大な関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的、応用的な能力を生かし効果的な技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解しその価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	臨書の復習(漢字の書―楷書)	・一年次に学習した古典の技法を復習する。 ・楷書の半紙作品の制作 ・様々な楷書の特徴を確認する。	○	○			a:各書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:各書体の特徴を表現し得る技法を身に付け表している。 d:代表的な古典のよさや美しさを味わっている。	観察 提出作品5
	漢字の学習(篆書)	・篆書についての歴史・基本的な特徴を学習する。 ・代表的な古典作品を鑑賞する。 ・篆書の用筆法、運筆法を学習する。	○			○	a:篆書の特徴を理解し、その表現や鑑賞に意欲的に取り組もうとしている。 b:逆筆・蔵鋒・中鋒などの用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:字形・分間・余白などを理解し、篆書の特徴を表現する用筆法を身に付け表している。 d:代表的な古典のよさや美しさを味わっている。	観察 レポート 提出作品
	漢字の学習(草書)	・草書について歴史的な概略を理解する。 ・代表的な古典作品を鑑賞する。 ・草書の用筆法・運筆法・結構法・字形のとり方を学習する。	○	○		○	a:草書の特徴を理解し、その表現や鑑賞に意欲的に取り組もうとしている。 b:草書の用筆法や省略された筆使いを理解し、表現を工夫している。 c:順筆・逆筆・筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:草書について理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品

※令和３年度以前入学生用

	仮名の学習	・仮名の美の書道的意義とびの展開について理解する。 ・代表的な古典を鑑賞する。 ・連綿・行書き・散らし書きについて理解する。	○	○		○	a:仮名の特徴を理解し、その表現や鑑賞に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:直筆・逆筆など小筆の先を利用する用筆法を身に付け表している。 d:仮名について理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察b 提出作品
	漢字の学習(隷書)	・隷書について歴史的な概略を理解する。 ・隷書の代表的な作品を鑑賞する。 ・隷書の用筆法、運筆法結構法、文字のまとめ方について理解する。 ・相互鑑賞会	○	○		○	a:隷書の特徴とその表現技法に関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしいぇいる。 b:隷書の用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:隷書の特徴を表現するための用筆法を身に付け表している。 d:日常生活の中にある隷書に関心を持ち、そのよさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
	作品制作	・様々な表現の工夫 ・楷書・行書・草書・篆書・隷書の中から選択する。 ・漢字仮名混じり文の作品を作る。落款、押印をする。	○		○		a:五書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:多様な表現ができる用筆法を身に付け表現している。 d:代表的な古典に学び、そのよさや美しさを味わっている。	観察 提出作品

※令和３年度以前入学生用

	暮らしの中の書	・年賀状 ・ペン字		○		○	a:細字の美に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:基礎的・基本的な細字や仮名の技法を身に付け表している。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 提出作品
	作品制作	・作品を制作する。 ・色紙作品を制作する。 ・相互鑑賞会	○	○	○		a:文字、語句の選定、完成にいたる創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:作品の意図を明確にし、表現をくふうしている。 c:作品の意図を明確にするための技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている・	観察 レポート 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。